

2011年度「未成年者飲酒予防基金」活動報告

川口市立十二月田中学校 「ライフスキルを通した健康教育の推進」

実施内容

未成年の飲酒防止に関する本校の取組

本校における飲酒に関するアンケートの実施
全校生徒を対象に15項目を質問し、学年男女別に集計した。

<アンケート結果より>

未成年のお酒の害についての理解が乏しい。
お酒についての正しい判断ができない。
お酒を勧められたときの断り方を練習したほうがよい。



未成年の飲酒防止ポスター

未成年の飲酒防止に関するポスターの作成

美術部が作成した飲酒防止に関するポスターを校内に掲示した。

未成年の飲酒防止にかかる標語コンクールの実施
全校生徒を対象に未成年の飲酒防止にかかる標語を作成し、
優秀作品を校内に掲示した。

掲示の際、書道部に標語の作成を依頼した。



飲酒防止にかかる標語

未成年の飲酒における心と体の害を学ぶ
薬物乱用防止教室において「未成年飲酒の健康への影響」と題して養護教諭から未成年の飲酒における心と体の害について学んだ。



へ

の
ラ

ライフスキルを活用した授業を実践
薬物乱用防止教室で学んだ知識を生かして、特別活動時間に各学年さらに飲酒に関する知識を深めるため
イフスキルを活用した授業を実施した。

- | | | |
|-----|----------------|---------|
| 1学年 | 「飲酒をしないために」 | ケーススタディ |
| 2学年 | 「お酒の広告を調べてみよう」 | 広告分析 |
| 3学年 | 「自信を持って断るために」 | ロールプレイン |

その際、アサヒビール小学生用啓発ツールを使用全校生徒へ

小中合同学校保健委員会を開催

テーマ「未成年飲酒の防止について」～自分の心と体を守るために～

- 1 飲酒に関するアンケート結果より
- 2 飲酒防止教育に関する学校の取組みおよび断り方の紹介
- 3 学校薬剤師・保健師による指導助言

その際、小学生にアサヒビール小学生用啓発ツールを配布した。

保護者にはアサヒビール「人とお酒のいい関係」を配布した。



地域保護者への働きかけとして未成年の飲酒防止に関する講演会を実施

2学期 期末保護者会の全体会にて未成年飲酒防止に関する講演会を実施した。

テーマ「未成年飲酒と心」

講師 並木茂夫（日本学校保健会 事務局次長 元本校校長）

講演の際にアサヒビール「人とお酒のいい関係」を保護者・地域の方へ配布した。



保護者を学校の活動に巻き込むための企画

ライフスキル学習においてロールプレイングの誘い役を保護者に依頼した。

共に学ぶライフスキル学習会（2回）を実施・・・2月中旬の予定

成果等

- 1、例年、飲酒の害については学ぶ機会はあるが、生徒は一度学んだだけでは知識としては定着しておらず、何度も繰り返し学ぶことで、未成年の飲酒の害について理解を深めていくということが、アンケートの結果から明らかになった。
- 2、飲酒の害について重ねて学習をすることにより、より深く学び、その知識を土台として学習を展開することができた。例えば、特別活動の時間や総合的な学習の時間にライフスキル学習を活用して「お酒の誘いを断る」ロールプレイングの演習やお酒を勧められた時の断り方のケーススタディ、飲酒に関する広告分析などを実施した。その結果、知識を正しい行動選択に結びつけることの重要性を学ぶことができた。
- 3、未成年の飲酒防止にかかわり、保護者や小学校と連携して学ぶことができたことも大きな成果である。特に小学校と連携して飲酒防止について学ぶ機会は初の試みであった。
- 4、地域や保護者への未成年の飲酒防止の働きかけとして講演会を実施し、地域・保護者からの反響も大きかった。初めて期末保護者会において講演会を実施できたことも大きな成果である。
- 5、未成年の飲酒防止について体系的に取組み、進めることによって来年度への薬物乱用防止に関わる教育への見通しがたった。